

春の組合員拡大月間（三月～四月）。ダンプ支部は現在六六八人。七〇〇人の峰が見えてきました。加入対象者の紹介よろしくお願いします。

CTG ぎ建交労 とちぎ

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
TEL 0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.dumptcg.org/
E-mail:DQJ06744@nifty.com

「アベノミクス」「消費税増税」は大失敗 申告相談会で厳しい実態明らかに



「消費税増税凍結・衆議院解散総選挙」の声も。安倍首相は「アベノミクス」の大失敗を認め国民に謝罪しろ！

「10%なんてとんでもない」

組合では今年も二月一日から確定申告相談会を開催し419人が参加しました。相談会を通して新加入した組合員数は15人でした。ご協力ありがとうございました。

医療・介護も切実な問題に

政府は一昨年「景気への影響は少ない」などと消費税率の引き上げを強行しました。とんでもありません。明らかに多くの企業・個人が設備投資、消費を抑え、建設ダンプ業界では仕事大幅に減少しています。多くの組合員が前年比で減収を強いられ車両入替などをした組合員は深刻な状況です。また総売上一千万円をわずかに超えた組合員でも50万円近い消費税を納付することになり、あらゆる組合員が深刻な状況に陥っています。深刻化しているのは、医療、介護、そして年金問題です。組合員の高齢化に伴い、医療費や親、配偶者の介護費用が増加しています。その一方で頼りの年金は、年間60万～80万程度

の組合員が多く、無年金の人も少なくありません。生活保護申請など切実な相談も増えています。国保税が払えず市に口座を差し押さえられた人も。暮らしを守るためには、政治を変えることが不可欠です。

バス・トラックによる重大事故多発 背景に人手不足・過酷な労働実態

今年一月スキーツアーバスが横転し一四名が死亡、今月は広島県山陽道のトンネルでトラックが追突事故を起こし二名が死亡、そのほか連日のように各地で大型車による事故が発生しています。重大事故が起こると必ず運行実態が問題になります。

山陽道トンネル事故では、運転手が居眠り運転をしていた疑いがもたれています。政府の規制緩和によって、安全意識の低い事業者が増加、価格競争、ドライバー不足によって労働条件が悪化しています。組合では厚生労働省に規制強化を求め続けてきました。いまだ運送業界は他産業に比べ賃金水準は低く、長時間運行をしなければ生活できないドライバーが少なくありません。



ダンプとトラックの事故（今月小山市）

労災保険新年度加入受付中

平成28年度労災保険特別加入申し込み受付中です。労災保険は仕事上の怪我などに適用される国の制度です。労災事故により仕事ができない場合、入院・通院に関係なく、医療機関の証明に基づき休業補償が支給され、治療費は原則無料になります。

コース	ダンプ年間保険料	建設年間保険料	1ヵ月休業補償
1	29,700	36,000	120,000円 1日4,000円
2	45,300	56,400	192,000円 1日6,400円
3	54,600	70,800	240,000円 1日8,000円
4	64,800	84,000	288,000円 1日9,600円
5	75,000	98,400	336,000円 1日11,200円
6	85,200	111,600	384,000円 1日12,800円

※ダンプは7コース95,400円、8コース105,600円もあります

建設国保加入者に「資格確認票」が送られています。必ず5月中に返送してください。不明な点は事務所まで。